五城目町広報

発行及び編集人　秋田県五城目町役場　総務課
電話（五）501～5
印刷　湖東印刷所

標語
納税で築こう われらの理想郷

三十四年度決算を認定
定例町議会終る

十二月五日五城目町議会定例会を招集、会期を十一日間に定められた。五日は町長の施政説明、六日七日は一般質問、八日から十四日までは決算審議、十五日十六日はその他の議案審議等の日程をもつて次の事件がそれぞれ認定並びに議決になつた

❶昭和三十四年度一般会計才入才出決算認定（才入一二五、八六一、三一七円、才出一三三、三四三、三三三円、繰上充用金七、四八二、〇一六円）

❷三十四年度五城目第一中学校建設特別会計決算認定（才入一五、七四二、六九七円、才出一五、二六三、七四八円、逓次繰越一、〇三二、九四九円）

❸三十四年度町有林野特別会計才入才出決算認定（才入三一、四五一、六八三円、才出三〇、九四九、二四九円）

❹三十四年度上水道簡易上水道特別会計認定（才入一五、三二五、二九〇円、才出九、七九七、一九九円、逓次繰越五、三八六、二一四円）

❺三十四年度国保特別会計才入才出決算認定（才入三三、三五一、六三六円、才出一九、五七三、二四九円）

❻薪炭材の払下申請について

❼建物等の賃貸申請について（旧営林署庁舎）

❽道路用地の取得について（上水道事業配水池道路用地）

❾指名競争入札によることの同意について（配水池道路新設工事、巾員三・六米、延長六三〇米）

❿町有地の処分について（面積不足による補充処分、三町七反五畝、原野）

⓫予算外義務負担について（森林組合が事業主体である小川口林道開設工事に対する町以外の負担分及び借入金の据置利子元利償還金、但し事業費負担は町以外の受益者が負担能力を失つたとき）此の事件は継続審議となる

⓬国有林野賃受地立木伐採承認申請について見込立木材積四一、二一四石）

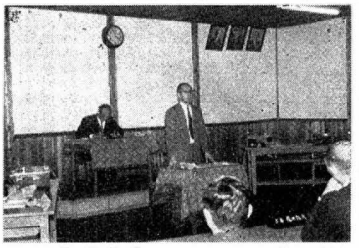
⓭町起債について（三十五年度都市計画事業費充当三百三十万円）

⓮秋田県町村職員退職手当組合規約を一部変更に関する協議について（追加加入町村昭和町外三団体）

⓯財政再建計画の変更について

⓰三十四年度五城目町上水道事業特別会計継続費の逓次繰越について（繰越金五、三八六、二二四円）更に陳情四件、請願一件が提案になりその中陳情の浅見内部落住民が使用している原野の払下げの件は継続審議となつた（写真は町長の施政説明）

（写真は開会中の議会）



「名刺交換会」開催のおしらせ

昭和三十六年の新春を祝い、町民有志の方々が一堂に会して年頭の挨拶を交し、希望に満ちた新たな年の抱負を語り合い、より一層の親睦を深めることを目的として、恒例の名刺交換会を開催いたしますから、町民各位は進んで御参加下さい。

名刺交換会の内容と参加申込の方法は左記のとおりです。

記

一、名稱　五城目町名刺交換会
二、主催　五城目町
三、日時　昭和三十六年一月一日　午前十時開会
四、会場　五城目町役場　第一会議室
五、会費　一人　一五〇円

一、年前九時三十分から会場へ入場し、開会十分前までに一同着席する。
②午前十時　開会
③国歌斉唱
④年頭の挨拶
町長　県議会議員　町議会議長　諸官庁代表等
⑤祝いの謡
商工会長　坂谷八十治氏
⑥余興
五城目「町民の歌」発表
新しい「五城目音頭」の唱と踊の発表日本舞踊の発表
⑦祝いの宴
開宴中に参加された方の余興を随意に演じて戴く。
⑧万才三唱
⑨閉会のことば
散会

七、参加申込の案内
①町民各位はどなたでも参加できます。
②参加を希望される方は、十二月二十七日までに会費（一五〇円）を添えてお申込み下さい。
申込先は
(イ)五城目町役場町民室（電話五〇一町民室）
(ロ)五城目町中央公民館（電話四一四番）
(ハ)大川出張所（電話一日市二四番）

寒入りの払暁
恒例の本町出初式を挙行

本町消防の出初式は恒例により正月六日午前十時より五城目小学校に於いて盛大に挙行される。

当日は午前七時半警火の為のサイレン警鐘が吹鳴され各分団員は之を合図に所定の場所へ集合場へ集合する。

順序は左記の通りであるが当日は秋田県知事より消防功労者並びに二十年三十年以上の永年勤続者に対する表彰状又県消防協会長より同功労者並びに十年以上の勤続者に表彰状七ヵ年の勤続者には男鹿南秋支部長五ヵ年勤続者には湖東部会長三ヵ年勤続者と消防功労者に対しては五城目町長よりの表彰状が贈られる。

出初式順序
一、開会の辞
二、国歌斉唱
三、人員報告
四、観閲
五、表彰状授与並伝達
六、町長式辞
七、消防団長訓辞
八、来賓祝辞
九、被表彰者答辞
十、消防代表謝辞
一一、消防団歌斉唱
一二、万才三唱
一三、閉会の辞

優良赤ちゃん表彰される

昭和三十五年度秋季赤ちゃんコンテストの結果該当乳児二一〇名の中次の五名の赤ちゃんが健康優良と認められ十二月十五日五城目保健所に於いて五城目町長賞、五城目保健所長賞、森永賞等授与された。

一、五城目町新畑町中村仁ちゃん（保護者憲嘉）
二、五城目町希望ケ丘佐々木りようちゃん（保護者勝太郎）
三、五城目町田町斉藤和夫ちゃん（保護者三佐夫）
四、五城目町大川一区小熊興子ちゃん（保護者惣右衛門）
五、五城目町新畑町佐藤尚子ちゃん（保護者二郎）

支払金は十二月二十七日まで取扱います。
町税その他納付金は秋田銀行へ納付して下さい。

私にもあなたにもできる たすけあいの本年度の共同募金が完遂しました

本年度当町割当額の二十九万五千五百八十八円が、みなさまの御理解と御協力で超過完遂し県共同募金会に納入しました。

来年度もよろしく御協力お願い致します。次報に使用明細をお知らせします。

失業保険料を受けられる方へのおしらせ

かねて皆様から御要請のありました失業保険料は三十六年の一月中旬ごろから当町役場事務室内で支払い事務を行います。

お知らせ板

年末の収入役室の事務取扱いについての御知らせ

年末の収入役室の事務取扱いは次の通りに致しますからお知らせ致します。

記

税金その他の納入金は、町金庫（秋田銀行五城目支店）で取扱っていますから御利用下さい

危い!! 年末年始の火事
特に「火の元」に注意を

昨年の暮れは畑町で新年早々誼越で相次いで火災が発生しております。

今年四月県知事より無火災モデル町に指定以来無火災の実績を堅持して居りますあと一息です。

このままゴールへ飛び込む為に特に左記の点御注意下さい。

記

一、ストーブについて。ストーブ及び煙突は常に完全なものを用い掃除は随時励行すること

二、いろりカマド風呂場等はキチント片づけ燃え易いものはなしておくこと。

（特にこたつには金網を必ず使用すること）

三、ガス石油電気等の使用が非常に多くなつています之等の原因による火災も少くありません、取扱方法を充分会得し火災発生等の無いよう注意すること又マッチの置場に対する日常の関心も怠らぬこと

この外冬期は火気の取扱いが数倍になります。町民一人一人が消防の心持ちで無火災に御協力下さい。

十二月

五城目町消防本部
〃　消防署
〃　消防団

町民各位様

百日咳、ヂフテリヤ、種痘の予防接種が行なわれています

予防接種は必ず受けなければなりません。

ことしも地区ごとに実施してきましたが、まだ終っていない地区も一月十日まで全部終ることになっておりますから、通知を受けた方は必ず受けて下さいある

五、試験期日
昭和36年1月17日から昭和36年2月1日まで

陸上、海上、航空の一般自衛隊を募集しています

防衛庁では、十一月十日から昭和三十六年一月十日まで陸上海上、航空の一般自衛隊員をつぎの要領で募集しています。

應募希望者は役場住民課で手続きをして申込んで下さい。

一募集人員
二等陸士…約一万名
二等海士…約一万七千名
二等空士…約二万名

二應募資格
昭和11年3月2日から昭和18年3月1日までの間に生まれた（昭和36年3月1日現在18才以上25才未満）日本国籍を有する男子で、学校教育法に定める中学校卒業程度の学力を有し、かつ自衛隊法第三八条の欠格事項に該当しない者

三、試験科目
中学校卒業程度の学力について行なう筆記試験（国語（作文を含む）数学・社会）身体検査及び口頭試験

四、採用予定時期
二等陸士　昭和36年3月下旬
二等海士　〃　3月中旬
二等空士　〃　3月下旬
ただし二等海空士の一部が昭和36年7月に入隊することが

県政ニュース第三〇号が上映されています

県政ニュース第三〇号には☆活気づく秋田港—県営魚市場開設
☆袋宮さま御来県
☆文化の日にはえて—文化功労者表彰式
☆県民の窓・開拓地に花咲をむかえる（南外村）
などが収録されています。
なお当町では「鵜ノ木」及び「シネマ」で上映されます。

☆　☆

公民館だより

昭和三十五年度 成人式開催要項きまる

記念講演に小畑県知事予定

五城目町中央公民館では、来年一月十五日（日）に行う成人式の開催についての詳細をこのほど次のように決定した。

これは先に「成人該当代表者協議会」をはじめいろいろの機関と協議した結果得たもので、成年に達した本町若人の前途のためにふさわしい式典にすべく準備をすすめている。

◎成人式諸催要項

一、趣旨

昭和三十六年一月十五日（日）をもって成年に達する本町若人の晴れの門出を祝福するとともに、今後なお一層新町の発展推進と、社会の進展に極めて大きな役割を担うものとしての責任を自覚し、一段と生活の向上に精進されることを期待して開催するものである。

二、名称

昭和三十五年度 五城目町成人式

三、主催 五城目町 五城目町中央公民館

四、日時

昭和三十六年一月十五日（日）午前八時四〇分より九時二〇分まで受付 十時開会

五、会場

五城目第一中学校

六、導入

1 式場 控室（成人 来賓）放送設備 接待用具などの準備一切完了八時三〇分

2 成人式順序説明（成人のみ対象に各控室へ） 九、二五～九、三〇分

3 来賓 保護者 当局関係者入場着席 九、三〇～九、四〇分

4 町長 登壇 九、三〇～九、四〇分

5 成人会場へ入場 九、四〇～九、五〇分

6 成人式日程説明

七、式次第

1 修礼（第一中伊藤襄先生）

2 開会の辞（教育長小林富蔵）

3 国歌斉唱（一回だけ）

4 式辞（中央公民館長男玉孫左工門）

5 成人証書授与（町長加賀谷力司殿より）

(イ) 成人点呼（馬場目・富津内＝佐藤 五城目＝阿部 内川・大川＝鎧岡 各地区ごとに町内部落名・成人氏名を点呼する

(ロ) 成人点呼の際ははっきり返事して起立する

(ハ) 成人証書は地区代表者へ授与する

(ニ) 他の成人の証書および記念品などは地区ごとに属食のときに配布する

6 来賓祝辞

(イ) 五城目町長加賀谷力司殿

(ロ) 五城目町議会議長木村喜太郎殿

(ハ) 五城目町婦人連絡協議会代表小野文子殿

(ニ) 五城目町連合青年会長石井悦郎殿

7 宣誓

(イ) 成人代表者（大川地区＝小隈伸子さん）

(ロ) 町長登壇して宣誓を受ける

(ハ) 宣誓が終ると同時に音楽放送

8 町民の歌、青年歌（若きもの）

五城目青年会合唱部員の應援を求める。出席者全員

9 万才三唱（五城目町議会文教社会委員長 荒川要市郎殿）

10 閉会の辞（教育長小林富蔵）

11 修礼（第一中伊藤襄先生）

八、記念行事

1 成人の誓い発表（男女各一名）二、三〇～二、四五分

2 講演「成人にのぞむもの（海外視察から）」

秋田県知事小畑勇二郎氏（接渉中）二、五〇～一、五〇分

3 芸能公演「わらび座」（接渉中）

二、〇〇～三、三〇分

九、成人への記念品

男子バッグル（町章イブシ銀を入れたもの）

女子折立て定鏡（名入れ男子同じ）

十、その他

1 成人の父兄（保護者）もできるだけ参加していただきたい

2 昼食は主催者側で準備するただし各自上履をご持参下さい

3 成人の該当者は十二月二十七日をもって最終決定する

4 来賓保護者

成人の出席申込みは一月五日（木）まで五城目町下タ町四十三ノ一中央公民館あてとする

5 その他くわしいことについては中央公民館へお申し出ください

感想文「成年に達したちかい」募集

来年一月十五日の「成人の日」を記念して中央公民館では昨年にひきつづき成人の感想文を募集することになった。

これは印刷に付して成人式当日の出席者全員に配布し、この中から優秀なものには成人式場において発表していただくことになっている。

なお募集要項は次のとおりであるが、多数の應募を待ちのぞんでいる。

◎成人の感想文募集要項

1 課題「成年に達したちかい」

2 應募資格昭和三十五年度成人該当者

3 字数四百字づめ原稿用紙五枚以内（二、〇〇〇字以内）

4 締切日昭和三十五年十二月二十七日（火）まで

5 届先五城目町中央公民館あて

6 その他應募者全員に参加賞を贈呈の予定

新五城目音頭

作詞 三浦清五郎
作曲 三石井

五城目よいとこ もりやまに ヨイトサノ
サッサ いちどくるひと いちどくるひと
二度となーるー 二度となるるー ハア
ヨイトサ コラサ ヨイヨイヨイ
ヨイトサノ サッサ さーさのばろう ふた
りづれ ふたりづれ ホラ ふたりづれ

婦人リーダー研究集会

講師に高橋社教主事をむかえ

五城目町婦人連絡協議会では来る十八日（日）午前十時より中央公民館で婦人リーダー研究集会を開催した。

これは婦人会活動がやや低迷の現状から脱皮しようとする意欲のあらわれであり、各単位会のリーダーの養成につとめようとしたもの。当日は先般長野富山両県に婦人県外研修生として参加した大川婦人会の北島與子氏の報告と、冠婚葬祭など慣行行事にまつわる悩みについて三グループに分れて話し合いが行なわれるほか、県教育庁中共出張所社会教育主事高橋富太郎氏の「最近の婦人会活動」について、示唆あるお話しをうけた。

なお終って映画鑑賞を行なった。

部落民の合理生活に寄與

落合部落―砕睦会

五城目駅からバスで三十分、豊かな山波を眺めて道が二つに分岐するところに、戸数約五十戸の落合部落がありますが、ここにめずらしい名前の「砕睦会」という会があります。

この「砕睦会」というのは三年前の三十二年九月に結成したものですが、中年層の一家のカマドを握っている婦人二十八名によって組織されております。

名称の通り「睦じく砕ける」ということからみんなでみんなの生活を、明るく楽しいものにしようと考えたり、部落の合理生活を進める為に役だつ事をしたりして、毎日明るく豊かな生活をおし進めるために、話合いや料理、生花の講習会を催したり、月二五円の会費を出し合っては会員の合所改善の費用に都合してやったり、更には日用品を共同で購入し、それで得た利益を会員はもとより部落全体で役立つものを買っては、広くその利用に供しております。

今では料理皿五種類の三十人分を用意しましたし、此の四日には婚礼の「貸衣しょう」を購入して改善結婚に一役買っております。これも男性の理解が一番大切なことであるとして、時には腕によりをかけて作った料理講習会の成果を味わってもらいながら、「砕睦会」の活動に関心と理解を深めて戴くために、細やかな愛情の程をのぞかせるなど、仲々手まめな活動をくりひらげております。

こうした活動と具体的な成果について伊藤部落会長を始め部落民全体が深く感謝しておると共に、今後の活躍を一層期待されておると、ゆきかう人々は口々に話されておりました。

明朗な人づくり 全町フォークダンスのつどい

12月24日 五小で開催

五城目町体育協会では来る十二月二十四日（土）午後一時から五城目小学校において全町フォークダンスのつどいを催すことになった。

フォークダンスは健全レクリエーションとして年々各種の会合において効果的な役割をはたし、明朗な人間関係をつくる要素となっており、ゆく年をしづかに反省しながら来年への希望を高め、今後の活動方針について語り合いしようとするものである。

とくにこの日は体育協会のなかにフォークダンス部として位置づけをなし、継続的活動をするような組織づくりをなして県フォークダンス協会に加入しようとするもの。

なお話し合いは中央公民館において行うが、参加者は体育協会フォークダンス部員として登録し、今後の活動に供するための会費三〇円を納入下さるようおねがいいたします。

仲間の同好者を多数お誘いの上参加くださるよう主催者側ではのぞんでいる。指導は体育指導員の佐藤真と宮川庄太郎の両氏である。

全町青年の話し合いの場

青年研究集会25日馬川小

五城目町連合青年会では青年が日常の生活の中におけるさまざまな問題をとらえ、話し合いの中やその問題を掘り下げる全町青年研究集会を開く。

これは来年一月二十八日から三日間横手市でおこなわれる全県集会への参加者の選考もかねておこなわれるもので、青年の生活、生産活動、学習活動、組織活動、社会活動の各部門について話し合いが行なわれる。

全町の若妻のつどい

たのしい一日をおくる

去る十六日五城目町教育委員会、中央公民館の主催により全町若妻のつどいが開かれた。

これは先年前山形県の農村の片隅からおこった運動で、今日では全国的に結成されその活動の機運がもり上っており、本町でも各地区において若妻のグループが結成されているが、やゝもすれば活動の方向が不明確で沈滞気味にあり、これを機会に活動をもりあげようとするために催されたもの。

この日参集した若妻一七〇余名により、若妻会をさかんにするための話し合いや、町長から町政について、教育長から若妻のあり方と国体開催について、体験発表として「主婦の読書活動」大川婦人会八柳千代さん「読書活動と村づくり」同じく加藤敬子さん歌しょう指導では「町民の歌」「新五城目音頭」の練習。

音頭の踊りなどたのしい中にも有意義な一日をすごし、今後の活躍が大いに期待されるものがあった。